

阪神競馬場

■阪神競馬場スタンド棟

阪急沿線三軒松駅の北側にある日本中央競馬会（JRA）の阪神競馬場スタンドが全面的に改築されることになり、当社はスタンド棟本体の鉄骨工事を施工した。今回の改築により、従来の六甲おろしの吹きさらす観覧席から、ガラス張りで空調が完備され、内部にはエレベーターやエスカレーターも備わり、イベントプラザが併設され、その規模も大きくなり延べ床面積約11万5000㎡の一大娯楽の殿堂となる。

当社施工のスタンド棟及び観覧席部分は、長さ約308m、地上6階建てで観覧席も5層あり、鋼重約15,000tの鉄骨造である。柱は直径1mのGコラム（遠心力鋳鋼管）で材厚は最大39mm、大梁は梁高さ1.5mから2mの鋼板組立I形材でフランジ厚最大40mm、ウェブ厚最大25mmの大型構造物である。現場での接合は、柱は溶接接合、大梁はウェブが高力ボルト摩擦接合でフランジは溶接接合である。

なおこの工事は、平成2年6月から既設スタンドの解体に入り、平成3年11月末にはレースを開催させねばならないという超突貫工事である。そのため鉄骨の製作と現場での建方・溶接作業は、早朝より深夜まで当社の総力を挙げて対応した結果、工期的にも発注者のニーズに応え、安全面でも無災害のうちに工事を終えることができたことは特筆すべきことである。



清水建設社報より転載

